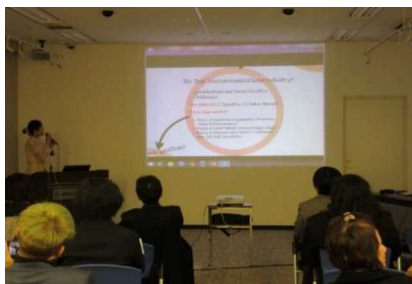


国際機関 日本アセアンセンターで本学大学院生・大学院修了生が講演しました

2017年3月27日、ASEAN-Japan 友好事業の一環として「ASEAN-Japan Debut Research Presentations & Discussions」と題するイベント（ASEAN-Japan Student Seminar）が、国際機関日本アセアンセンターにおいて開催され、Chadatan OSATIS さん（国籍 Thailand、大学院経済科学研究科博士後期課程修了）、Nang Thinn Thinn Htike さん（国籍 Myanmar、大学院理工学研究科博士後期課程在学）、Harumi KANZAWA さん（国籍 Japan、大学院経済科学研究科博士後期課程修了）が講演を行いました。当日は、外務省・JICA 研究所・埼玉大学・文教大学・東京医療保健大学などから26名の参加があり、埼玉大学と文教大学の学部生が司会・受付・撮影を務めました。

講演内容は、1）Chadatan OSATIS さんが“Industrial Organization and Human Resource Management in the Thai Telecommunication Industry”を、2）Nang Thinn Thinn Htike さんが“The Arsenic, the Former Problematic Milk Tainted Chemical of Japan & the Current Environmental Pollutant of Myanmar, effecting the Cell Cycle and Viability of Astrocytes by Inducing Unscheduled S Phase-Entry-Coupled Cell Death”を、3）Harumi KANZAWA さんが“Continuity of Elderly Women Group Activity in Japan Rural Areas : The Management of Economic Organization by Elderly Women”を解説し、出席された外務省の白石和子大使からは讃辞が述べられました。



講演する Chadatan OSATIS さん



講演する Nang Thinn Thinn Htike さん



講演する Harumi KANZAWA さん



講演者 & 司会・受付・撮影者